

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	平成17年度	根拠法令・例規等	地方自治法、備前市国民健康保険財政調整基金条例
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつでも安心して暮らせるまち	保健課
	小項目	施策	22	国民健康保険・後期高齢者医療制度の適正運営と国民年金事務執行	職・氏名 保険医療係・田淵美保子 電話 0869-64-1819
事務事業名		05	財政調整基金事業	このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	国民健康保険に加入している被保険者	
目的(何のために)	国民健康保険財政の健全な運営に資するため財政調整基金を造成する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	国民健康保険財政の健全運営	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	基金積立事業	国民健康保険財政の健全な運営に資するため、財政調整基金を設け、基金の利息を積み立てしている。	◎

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	259	202	199
	必要人員費	人	0.00人	0	0.00人
	事業費計	千円	259	202	199
	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円				
受益者負担比率	%				
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
国民健康保険財政調整基金積立金	積立金				
結果指標量		258,642	202,155	200,000	
対前年比	%	47.9	78.2%	98.9%	
活動コスト	円	258,642	202,155	200,000	
単位当たりコスト	円	1	1	1	

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
被保険者1人当たり基金保有額	成果指標名	目標値(A)	35,000	35,000	35,000	35,000
		実績値(B)	43,730	44,675		到達目標値
		達成率(B/A)	124.94%	127.64%	0.00%	35,000
成果指標設定の考え方・式や説明						
基金保有額/被保険者数 適正な財政運営のための基金保有額を指標としている。						

Check

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H25年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明			○						
説明		基金取り崩しを最小限にして、安定した財政運営に努める。							

総合評価		総合評価
基金は、過去3年の保険給付費の平均年額の5%以上に相当する額を積み立てることが望ましいとされており、それ以上の積立はあるが、医療費の増加により、国民健康保険財政は厳しい運営となっている。		総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
B		

平成26年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標			○						
取組目標		基金取り崩しを最小限にして、安定した財政運営に努める。							

Action